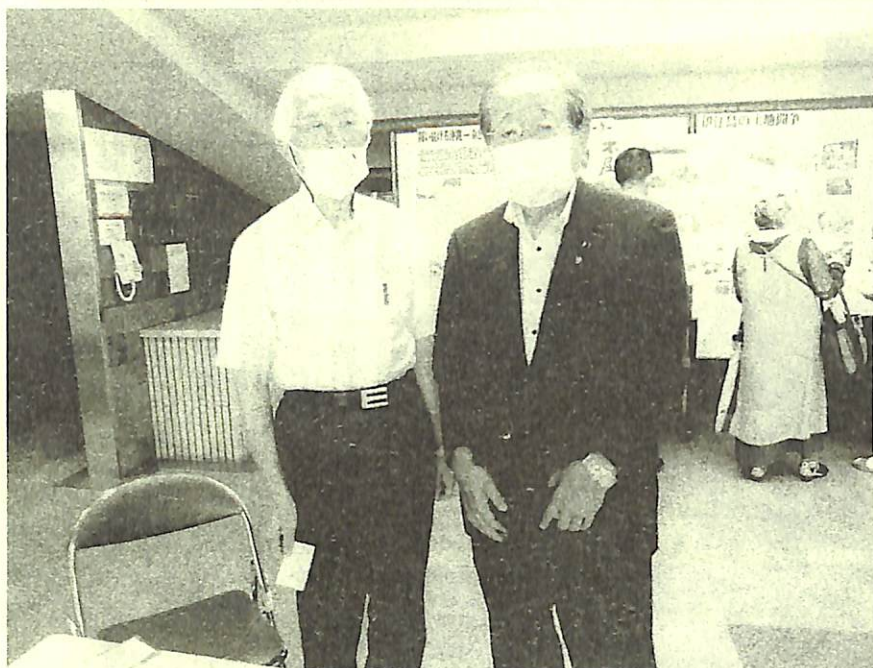




一 歓談する講師の藤田廣登さん（左）と原田完会長（右）



(566号付録)

京都版 第433号

2021年8月15日

治安維持法犠牲者
国家賠償要求同盟

京都府本部

〒604-8832京都市中京区

壬生下溝町 51-41

(電) 090-8575-9851

fax 075-325-3863

E-mail info@kokubai-kyo
to.com

ホームページ <https://kokubai-kyoto.com>

kubai-kyoto.com

第41回平和のための 京都の戦争展開催！

平和のための京都の戦争展」が、7月23～24日、京都市左京区の京都教育文化センターで開催されました。主催は「平和のための京都の戦争展実行委員会」です。これまでは立命館大学の国際平和ミュージアムで開催されていましたが同ミュージアムがリニューアル中であり会場を変えて開催されることになりました。戦争展は今回で第41回を迎えました。

コロナウイルスの感染拡大の下で、密にならない座席、マスクの使用、部屋の換気、短時間の使用などに注意しての開催でした。約750人が参加しました。

治安維持法国賠同盟京都府本部は、今年も展示と講演を行いました。

講演は、「時代の証言者・伊藤千代子」を出版された藤田廣登さん。講演者を取り囲むように並べたパネルの前で千代子を語り、熱弁をふるいました。

弁当分け合う心優しい千代子……

諏訪高女で校長の土屋文明の薫陶を受けて育った伊藤千代子は、卒業後の代用教員時代、凶作や繭・生糸の暴落で弁当を持参できない児童を励まし、教室に残って弁当を分け合っていました。

「婦人論」読んでジェンダー平等へのめざめ……

ベール「婦人論」に出会い、「これだ」と感動した千代子は郷里の友に書き送る。「女の人が覚めるとき、男子の催眠術から、そして自己の自己に対する催眠術から覚めるとき、どんなにすばらしい世の中が開か

れて来るでしょう」

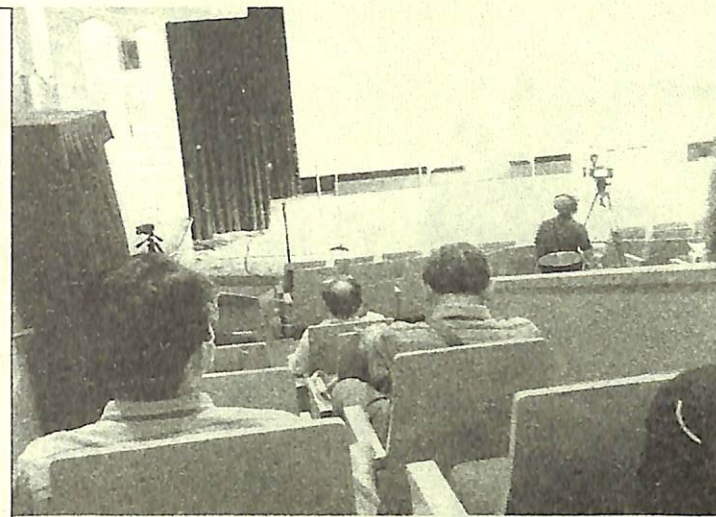
小林多喜二と伊藤千代子

時代が結んだ青春……

1928年日本で初めて普通選挙が行われました。(25歳以上、男性のみ)このとき伊藤千代子は北海道から出馬する労働

党山本憲蔵の選挙資金を用立て活動に参加していきました。小樽では、待ちに待った小林多喜二らが、山本憲蔵を迎えてたかいの火ぶたが切られました。二人が、もし特高警察の弾圧で生を絶たなければ、どんな

にすばらしい人生を切り開いていったことでしょう。『時代の証言者・伊藤千代子』の講演会には85人が参加しました。幅広い協力や募金を頂き感謝申し上げます。



講演が行われたホール



治安維持法に関する資料パネル



伊藤千代子の資料パネル

西村清三という
生き方(断章)
ー反戦反ファシショ
をつらぬいてー②

佐藤 和夫

そのあと、西村らが再建活動に参加し、1933年の6月20日に再検査されたのだ。その点で党活動でも刑務所でも前川と西村は先輩・後輩の関係だった。前川は出所したら新体詩の本を差し入れるといい、岩波文庫の土井晩翠の詩集を届けてくれた。ふたりは刑務所では俳句仲間だった。その前川は、名古屋出身の1912年生まれで西村より2歳若かったが、確かな情勢分析をするなど頭脳明晰の敏感な青年だった。1937年、日中戦争の年に亡くなった。

1943(S18)年12月から

1945(S20)年8月まで、南レールマ(現・ミヤノマー)の兵站業務と貨物庫の倉庫管理を受け持つ「森第8224部隊」(本名は陸上勤務第94中隊、暗号名は森)に所属した。左翼前歴者のレッテルをはられた陸軍輻重兵(以前は輻重輸卒といわれ軍隊の工夫で兵隊の扱いを受けない存在)として、1944年3月に発動し7月中旬に作戦中止となったインパール作戦に加わった。33才の上等兵で兵站のために食料の調達や炊事から医療班などもやられた。敗戦後、1946(S21)年7月に、日本共産党に再入党し、京都市伏見区の桃山細胞を結成した。

食料品配給公団京都支部労組に参加し、同労組の中央委員を短期間つとめ、同公団細胞結成をした。D不動産会社の経理担当や1975年には、住民運動でつくられた府営団地に隣接した

公設民営の保育園の理事長なども10年以上勤め上げた。この間、伏見区の選挙管理委員長などにもついていた。開票作業の結了を告げる拍手木をたたく凛とした姿が、ダンディな西村によく似合った。戦前の非合法の政治活動を強いられた西村にすれば、万感の思いを込めて拍手木を叩いたであろう。

また、戦後の50年代には、『新京都文学』『文芸探求』の同人として文化運動に関係した。賀川真也子著の「京都戦後文学史ノート」(2005年4月・株式会社ウインかもがわ刊)によれば、戦場体験での従軍慰安所「ニャンパ亭」を書いた。部隊の左官クラス殿は2号の現地妻を持ち、大佐と中佐とで女の取り合いもあったとか、英軍機の空襲にあった糧秣庫の数を水増し在庫品の横流しを中佐や大佐がやっていたことを告発し

た。皇軍の腐敗ぶりをいかになく描いていた。(おわり)



京都府本部総会への
ご挨拶

治安維持法犠牲者国家賠償要求同盟中央本部会長
増本一彦

2021年度府本部総会に全国の同盟の仲間たちを代表して心から連帯のご挨拶を送ります。

京都府同盟の皆さんは、コロナ感染拡大の脅威の中でも、互いに知恵と力を出し合い、府本部と支部が団結して会員拡大と「国は治安維持法の犠牲者に謝罪と賠償措置を執れ」の国会請願署名運動を全県規模に広げるために奮闘してくださっております。私は、京都府同盟の仲間

の皆さんに心から敬意を評するものであります。

さて、安倍政権の行き詰まりによって交代した菅政権は、①発足直後に日本学術会議会員6名の任命拒否を行って学問・思想・信条の自由を蹂躪し、さらに②中央・地方の行政機関を問わずあらゆる国民の情報に「デジタル化」を進めて権力による国民監視社会の構築を企み、③安全保障とテロ対策を口実にしてかつての戦時下の要塞地帯法のような「土地利用規制法」を強行して米軍・自衛隊基地や原子力発電所など政府が恣意的に指定する「重要区域」の周辺の住民への権力による監視と氣勢を行うことによって住民の財産権と自由・人権の制約・規制を図るなど、『米中対立』の渦中において米国政府・巨大企業とのいっそう従属的な軍事同盟強化への道を突き進むとしてお

ります。

また、菅政権は、国民のコロナワクチン接種率が先進諸国中最低位であることが示しているように、国民の生命と健康を守る施策を抜本的に強化することせず、医療の崩壊の危機と働く者の暮らした生業の困難を顧みず「非常事態宣言」と「自粛の要求」を繰り返すだけで、国民多数の反対と危惧の世論とオリンピック憲章を無視してオリンピック・パラリンピックの開催を強行しようとしています。他方、中国もまた香港・国家安全維持法による市民への迫害や新疆ウイグル自治区における人権侵害と民族差別など、かつて自国の軍閥支配を打ち破って自由と民主主義を基本に据えた人民民主主義の実現のために幾百万の人民の命を犠牲にしてかちとった成果を、そして、私たち日本の先達である治安維持法

犠牲者等が中国人民の闘いに連帯して侵略戦争と植民地支配に反対して平和と民主主義・基本的人権の保障の確立と働く者の暮らした経済・文化の向上のために生命を賭して闘い抵抗した歴史、とを踏みにじるような政治を強行しています。

このような情勢であるからこそ、私たち治安維持法犠牲者国家賠償要求同盟は、今、先達たちが生命をとしたたかいその礎を築きあげた日本国憲法の両性の平等（現在では、さらに発展してジェンダー平等となった）にもとづく民主主義を確立して、国際平和主義、基本的人権尊重主義と国民のくらし・経済・文化の向上を目指した「闘いと抵抗の歴史」を深く掘んで、「市民と野党の共同」の運動の輪の中に入って、その発展に力を尽くさねばなりません。

いよいよこの秋には衆議院議

員総選挙の闘いを控えています。

この選挙は「国は治安維持法犠牲者等に謝罪と賠償措置を執る」という同盟要求実現する第一歩となる重要な選挙であります。

私たち同盟は、小選挙区においても、比例選挙区においても、「市民と野党の共同」のために最も尽力を傾ける候補者と政党の勝利・躍進のために全力を傾けねばなりません。「国民連合政権」実現は、国民の良識の声であります。

衆議院総選挙の勝利のために、会員さんをさらに増やし、国会請願署名も自主目標の達成に向かって前進しましょう。そして、来年6月の全国大会を2万名の会員を擁する同盟組織に発展させましょう。

皆さんの府本部総会のご成功を心から期待して、ご挨拶いたします。

敬具